

創立70周年記念式典

平成 3 年10月20日(日)、盛大に祝う

岐阜県立関高等学校創立70周年記念式典



秋も深まり紅葉も色彩やかに
なった十月二十日、天候にまで
祝福されて、創立七十周年記念
式典が挙行されました。
式典に先立ち、研修会館、
彩雲館の竣工式が学校長を
はじめ実行委員会の皆様の出席
を得て行われました。
同窓生をはじめ教職員や在校
生、PTA、地元教育関係者合

わせて千五百名が一堂に会し、
安桜山の麓の旧校舎からこの桜
ヶ丘の地に移転した七十年の歩
みを想いながら、今日のこの喜
びを祝いました。
式典は、物故者の慰霊に黙祷
を捧げたのち、渡辺章同窓会
長の開式の辞によって厳かに進
められました。
炭竈利夫記念事業実行委員長

の式辞、高橋伸郎校長、吉田三
郎岐阜県教育委員長の挨拶に続
き、来賓として後藤昭夫市長
伊佐地金剛県会議員の祝辞、本
校の卒業生でもあります石原太
紀岐阜県高等学校長協会会長から
は母校の思い出、諸先生のエピソードをまじえた大変暖かい祝
辞をいただきました。
つづいて、本校の伝統を受け
継ぎ発展に貢献のあった歴代校
長、同窓会活動及びPTA活動
を通じて功労のあった歴代同窓
会長・歴代PTA会長、永年勤
続職員など五十五名の方に感謝
状が贈られました。さらに、記
念事業の一つである記念碑の
「永久に」の文字を揮毫してい
ただいた亀山むつ先生に感謝状
が贈られました。記念事業のメ
インとして、多数の皆さんにご
寄付をいただいて完成した研修
会館、彩雲館の目録が、実行
委員長より学校長へ贈呈されま
した。三屋裕一生徒会長が生徒
を代表してお礼の言葉を述べ、
出席者全員で校歌を斉唱し、約
一時間にわたる式典の幕が閉じ
られました。
記念講演として、TVキャス
ターの徳光和夫氏に、スポーツ
の世界を通して現代の若者のあ
り方などを話していただきまし

「良き伝統、今後も継承」 関係者 250 人を招いて挙行

桜ヶ丘だより

第 23 号

発行所

関高等学校同窓会

岐阜県関市桜ヶ丘2丁目

郵便番号501-32

電話 (0575)22-5688

FAX (0575)22-5688

印刷/関印刷有限公司

〈校 訓〉

錬 進

磨 誠 取

た。

なお、感謝状が次の方々に贈
られました。

○歴代校長

小林 茂 後藤 勝
川崎 立夫 河合 渡

○歴代同窓会長

河合 定彦

○歴代PTA会長

後藤 一男 渡辺 誠夫
後藤 純三 藪下 謙
河合 定彦 尾関 二郎
広瀬 恒行 清水 公男
丹羽 栄守

○永年勤続職員

・旧職員 後藤 治芳

奥田 清 永井 克人
林 文雄 村山 俊彦
大原 弘子 二村 敬子
浅見 真澄 保井 孝
長縄 光洋 二階堂 保
小林 勝己 岩田 龍治
近藤 紀公 西村 紀代美
小森 幸子 高崎 和夫

伊藤 誠剛 山田 幸永
早川 佐知子 黄倉 寿雄
藤井 申子 篠田 和子
堀地 とよ 桜井 孝子

・現職員

安藤 孝雄 浅見 時子
居上 英泰 坂田 實
棚橋 浩 植村 里史
坂本 伸子 溝際 佳典

・校 医

下條 和敏 丹羽 剣

・薬剤師

遠藤 忠治

○建設関係者

記念碑揮毫 亀山 むつ

株式会社岐創設計室

美濃工建設株式会社

○記念事業

研修会館「彩雲館」建設

記念碑「永久に」建立

同窓会会員名簿発行

創立七十周年記念誌発行

記念講演



記念式典式辞

実行委員長 炭竈 利夫

本日は岐阜県教育長さんをは
じめ多数の来賓の皆様なら
びに関係各位の皆様方のご臨
席を得まして岐阜県立関高等学
校の七十周年記念式典を挙行す
ることができましたのは、私ども
実行委員の大きな喜びとするこ
ろであります。私ども実行委
員は一昨年の七月に有志があ
い集まって毎月何回も会合を重
ね力を合わせて努力してまいり
ました。

振り返ってみますと私どもの
母校は、大正十年に中濃地区唯
一の女学校、武儀高等女学校と
して創設されました。そして大
平洋戦争をはじめ、幾多の厳し
い時代を乗り越えて約二〇〇名
の方々が卒業されています。そ
の後の昭和二十三年の学区制に
よりまして岐阜県立関高等学校
と改名されました。そして現在
までに二六〇〇名の卒業生の方々
が、各界で活躍されております。
こうした長い歴史の中で私達の
先輩によって築かれ培われてま
いりましたこの岐阜県立関高等
学校の伝統が、先輩から後輩へ
と今も脈々と受け継がれて居る
のでございます。

その武儀高女の跡地に今回七
十周年に合わせまして関高関学
の地という記念碑を建立いたし
ました。この碑銘に「永久に」
と言う文字をいただきました。
ありがとうございます。

一方では生徒の皆さん方、こ
れから後輩の研鑽の場として研
修会館を建設し充分活用して頂
けるよう提供することもできま
した。ただ今八時三十分からの

竣工式も無事終わったところで
ございます。

その他、記念誌の発行、同窓
会会員名簿の作成等含めまして
これらすべて企業の皆様さん方、
また地域の皆さん方、そして卒
業生の方々のご厚志によるもの
であり深く感謝いたして居る次
第であります。私も一卒業生と
して、皆様方にお願ひ致します
ことは、この七十周年を契機と
して次なる社会を目指して大き
く飛躍していただきたい、と同
時に歴史ある岐阜県立関高等学
校の伝統をいつまでも誇りにし
ていただきたいと思います。

今こうして壇上に立って思い
ますことは、当初私ども実行委
員会のメンバーがこの事業を企
画したのでございますが、今こ
うして大勢の来賓の皆様方をお
迎えして盛大に式典ができた
ということは、ひとえに県職員

地、関市、さらに一般企業の方々、
地域の皆さん方のたいへんなご
協力によるものと深く感謝致す
次第であります。

「教育は、百年の計」と言わ
れております。今本校も七十年
目を迎えたところでございます。
いよいよこれから胸突き八丁
に差しかけたと言えます。こう
した時期に当たって、私どもも
七十周年を契機として地域、一
層関高校をして地域の信頼性を
深めると共に、国家並びに世界
人類への貢献を尽くすよう関係
者一同心新たにしている次第で
あります。どうか皆様方も今後
とも岐阜県立関高等学校に対し
まして一層のご支援を賜ります
ようお願い申し上げますと共に
今日ここに出席の皆様方に、
重ねて、お礼申し上げます。
私の式辞とさせていただきます。
どうも有難うございました。

記念講演

TVキャスター

徳 光 和 夫 氏

